

書き起こしの見方について

この書き起こしは、青山（2000）の提案する方法をもとに、それぞれのビデオマニュアルについて、①基本的な構造、②表現の内容、③映像、音響効果の3つの観点から記述したものである。以下に、各部の見方について述べる。

①基本的な構造

C1、C2とあるのはカット番号である。本文で記述する際には、このカット番号を用いている。また、カット毎に横線を加えて、ショットの区切れを示した。

「時間」は、書き起こしの開始点を0分0秒として計測した。すべての表記は、ここでの時間をもとに配置されている。各セルの高さは、ショットの持続時間に比例しているが、4秒以下のショットの場合には、記述するスペースが小さくなるので、やや大きめのスペースで記述していることがある。

②表現の内容

「カット内容」には、映像の内容についての説明を示した。「せりふ」は、ナレーターの音声を書き起こしたものである。

③映像・音響効果

映像効果・音響効果とも、線の長さで持続時間を表現した。また、持続時間の短い効果音については、(効果音)のようにカッコで示した。なお、かぎカッコで示されているのは、テロップで表示された内容である。

引用文献

青山征彦 2000 映像の過去表現のつくられかた：微視的検討 認知科学, 7, 3, 241-256.